

拠出金名：国際農業研究協議グループ拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				748,000千円	
国際機関等名	国際農業研究協議グループ (英文名称・略称) Consultative Group on International Agricultural Research (CGIAR)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局多国間協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レート	ODA率(%)
平成19年度	748,000	6,448		1米ドル=116円	100
平成18年度	1,379,500	12,428		1米ドル=111円	100
平成17年度	1,100,000	10,280		1米ドル=107円	100
当該拠出金の目的・用途等	研究開発プロジェクトの実施、事務所運営費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 520百万米ドル 当該年度の支出 506百万米ドル 次年度への繰越 14百万米ドル	
1位	EC	62,400	12.6	会計検査機関名 監査法人(KPMG等)	
2位	米国	59,500	12.0		
3位	世銀	50,000	10.1		
4位	英国	44,600	9.0		
5位	カナダ	31,100	6.3		
日本は12位、拠出率は1.8%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国際農林水産業研究に対する長期的かつ組織的支援を通じて、開発途上国における食糧増産、農林水産業の持続可能な生産性向上、貧困削減に努めており、農業支援分野における我が国の重要なパートナーとなっている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
積極的に機構改革に取り組んでおり、グローバルな観点からの研究プログラムの構築、組織の改編等を通じて機能の強化、戦略的な研究開発の推進に努めており、現在は独立調査委員会の提言を受け、マネジメントの抜本的改革に取り組んでいる。					
邦人職員数 うち幹部以上	39人 うち 1人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	8,082人 0.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
CGIAR事務局長特別顧問		柳谷 俊範			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
機会を捉えて、CGIARの各研究センター幹部に対して邦人研究員の採用について働きかけを実施。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考) その他、本グループ内の研究センターである国際稲研究所(IRRI)、国際とうもろこし・小麦改良センター(CIMMYT)、国際水管理研究所(IWMI)に対し、農林水産省からの拠出金がある。